

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

川島小学校の学校教育目標「仲間と共に成長する子」、めざす学校の姿「安心して学ぶことができる学校」の実現に向けて、地域の方や保護者に学校運営に参画していただき、協議しながら、教育活動や教育環境の具体的な改善・充実にに向けて取り組みを推進しています。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### ①学習支援活動

##### 【こども未来塾】

夏季休業中の学習支援として、運営協議会が主体となり、「こども未来塾」を8月19日（水）20日（木）の2日間開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、募集人数を例年より少なくし、3年生以上の学年とした。3年生から6年生まで合わせて64名の児童が参加した。

コミュニティスクールの委員が中心に、自治会や民生委員さん等地域の方や、大学生ボランティア・三滝中学校の学生ボランティアが支援員となり、子どもたちへの学習支援を行っていただいた。新型コロナウイルス対応として、登校時の受付にて検温及びアルコール消毒を行うとともに、できるだけ各教室の密を避けるため、実施する教室の数を増やし少人数とした。

また、子どもたちとは直接接することはなかったが、教室内のアルコール消毒やトイレ清掃等にご協力をいただいた地域の方々もいた。子どもたちの学力保障及びキャリア教育の機会をつくることのできた。

##### 【福祉体験学習】

四日市市社会福祉協議会の協力を得て、身体や聴覚、視覚に障がいのある方から話を聞いたり、一緒にスポーツで交流したりする福祉体験学習に取り組んだ。障がいのある方との出会いを通して、誰もが人権を大切にして、いきいきと暮らせる社会について考えた。



3年生は、聴覚に障害のある方と出会い、聞こえないことや、普段の生活についてお話を聞くことで、ともに生きるために自分たちにできることは何かを考える契機とする目的で、この学習に取り組んだ。

四日市ろうあ福祉会役員の伊藤政敏さんが、手話で自己紹介等をされ、それを手話通訳の仲根さんが言葉で子どもたちに伝えてくださった。生まれた時から聞こえないこと、若い時は野球やスキー、ゴルフをしたこと、自動車の免許を持っているので今も運転をしていること等、いろいろな話を聞くことができた。

4年生は、総合で取り組んでいる「すてき発見 わたしたちの住む三重県！」～三重県に住む目の不自由な方の思いを知ろう～の学習として、サウンドテーブルテニス三重県代表の黒田さん、黒田さんの友達でサウンドテーブルテニスの審判もされる中野さん、四日市社会福祉協議会の安田さんにお越しいただき、いろいろな話を聞かせていただいた。その後、実際にサウンドテーブルテニスを体験させていただいた。



## ②地域体験活動

### 【たこ作り，たこあげ体験】

川島地区青少年育成推進協議会の皆さん及びかわしまっこもりあげ隊のみなさんにお世話になり、1～3年生が凧作りと凧あげの取り組みをしていただいた。かわしまっこもりあげ隊の皆さん方が丁寧に準備していただいたおかげで、子どもたちはうれしそうな様子で凧をつくり土地改良区の道で揚げた。今年度は、コロナの影響で子どもたちが大好きな「かわしまウォークラリー」等、行事が次々と中止になった。そのような中、青少協のみなさんにお世話いただいたことで実現した「たこ作り・たこあげ」の取り組みのおかげで、子どもたちはキラキラとした笑顔を見せながら活動することができた。



## (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

### 【学校評価アンケート結果】

本年度の学校教育活動アンケートにおいて、すべての質問項目で、A Bの回答を合わせて約90%以上であった。しかし、経年変化をみたとき、前年度に比べ、「開かれた学校（授業公開）」の項目が8%低くなった。これについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響が多いと考えられる。全校行事や授業参観、各学年の行事等が中止となり、学校の様子が保護者に伝われにくかったことが考えられる。

### 【子どもたちの様子】

今年度は、回数としては少なかったが、各学年で地域の人々やゲストティーチャーを招いて、直接お話を聞いたり交流したりする学習を行うことで、住みよいまちづくりのために地域の方が活動していることを改めて知る機会となり、理解が深まった。また、自分たちにできることは何か、また、今後どのようなことをめざすのかについて考えることができた。

### 【教師の意識】

総合的な学習の時間の探究的な学習活動として、地域の方との協働的な学びを模索してきました。今年度はコロナ禍の中、教職員のアンケートからも、学校行事や学年行事、授業参観等、中止となった行事も多く、十分な活動ができなかったという意見が多かった。次年度以降も、人との出会いを取り入れ、地域の方との協働による学習の充実は、本校の特色ある教育活動として、年間指導計画に位置付け継続していきたい。

## 3 今後に向けて

四日市版コミュニティスクールの指定を受け、3年目となりました。しかし、今年度は、新型コロナウイルスの影響が大きく、地域と連携した活動がほとんどできなかった。

今後も運営協議会で協議をしながら、地域の教育力を活かし、保護者・地域・学校がともに協働し、教育活動の充実を図っていくとともに、学校教育ビジョンの達成に向けて、学校運営に取り組んでいきたいと考える。また、中学校区の連携を深め、取り組みを広めることで、より地域に根差したコミュニティスクールが確立されることが考えられる。中学校区として9年間の学びを保障するためにどのような活動をしていくべきなのかを検討し、取り組みを進めていきたい。

別紙B

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立川島小学校

委員長 袴田 政廣

校長 川村 義修

月	協議会の開催	活 動 内 容
6	24 (水) 第1回 コミュニティ スクール運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の委嘱</li> <li>・授業参観</li> <li>・学校づくりビジョンの承認</li> <li>・年間活動計画 など</li> </ul>
7		
8		○こども未来塾
9	3 (木) 第2回 コミュニティ スクール運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期のふりかえり</li> <li>・2学期の取組について</li> <li>・こども未来塾の反省</li> <li>・授業参観 など</li> <li>○オープンスクール</li> </ul>
10		○運動会
11	10日 (火) 第3回 コミュニティ スクール運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の取組について</li> <li>・次年度の運動会 など</li> <li>※人権学習 (6年)</li> </ul>
12		
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校入門講座</li> <li>○たこ作り・たこあげ体験</li> </ul>
2	2日 (火) 第4回 コミュニティ スクール運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価について</li> <li>○福祉体験学習 (3年)</li> <li>○福祉体験学習 (4年)</li> </ul>
3	2日 (火) 第5回 コミュニティ スクール運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○六送会</li> <li>・六送会参観</li> </ul>